

京都大学出前授業

10月27日（月）放課後、「京都大学出前授業」が実施され、1年生15名、2年生8名、3年生1名が受講しました。講師は、京都大学大学院農学研究科研究員の野間万里子先生で、テーマは、「『和食』ってなに？一食の未来を考えるために」でした。

【講演の様子】





「和食」は、昨年、ユネスコ無形文化遺産に登録されましたが、そもそも「和食」とは何なのか、「和食」という視点から見る日本の食生活の歴史はどのようなものであったのか、「食」をめぐる「生産」と「消費」の問題はどのように結びついているのかなど、大変興味深い講義を受けました。

授業の最後にあった、「『伝統』とは創られるものであり、20年後、30年後の『和食』は現在のわたしたちの毎日の食事行動によって作られる」という野間先生のことばを、多くの生徒が印象深い熱いメッセージとして受け止めました。

また、京都大学農学部の扱う学問領域の広さや、京都大学らしい自由と伝統ある研究のあり方を生徒はこの授業を通じて肌で感じることができました。

野間先生、ありがとうございました。